

# 函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会

## 第10回会議 会議録（要旨）

### 1 日 時

令和元年10月1日（火）19：00～20：20

### 2 場 所

函館市医師会病院5階講堂

### 3 出欠状況

メンバー：寺田部会長，水越副部会長，川村メンバー，伊藤メンバー，阿部メンバー，山本メンバー，益井メンバー，京谷メンバー，白川メンバー，齋藤メンバー  
部会運営担当：（函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，中村，長谷川，鎌田  
事務局：（函館市地域包括ケア推進課医療・介護連携担当）栗田

### 4 議 事

#### ○報告事項

- (1) 平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告
- (2) センターホームページ「コラム」の掲載について
- (3) 研修情報一元化と提供について

#### ○協議事項

- (1) 意見交換会について
- (2) 平成31年度 函館市医療・介護連携多職種研修会について

### 5 会議の内容

#### 栗田医療・介護連携担当

ただ今から，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第10回会議を開催いたします。前回の会議でも確認いたしておりますが，この会議は原則公開により行いますので，ご了承願います。

次に，第9回の会議録についてですが，事前に各メンバーの皆様にご確認をさせて頂きました。事務局の方には，特に修正のご意見がございませんでしたので，原案どおりで，第9回会議録を確定させていただき，市のホームページ上で公開させていただきます。

本日は，道南在宅ケア研究会の川口様が所用により欠席となっております。

それでは，本日の資料を確認させていただきます。事前に会議次第1枚，資料1から9まで全部で裏表の印刷含め合計13枚を送付しておりますが，本日お持ちでない方はいらっしゃいますか。また，あらかじめ机上に座席表と出席者名簿を配布させていただいております。

次に、部会メンバーの交代がございましたので、ご紹介させていただきます。一般社団法人函館歯科医師会の岩井様に代わりまして、カワムラ歯科クリニックの川村曜補様が就任されました。

#### 川村メンバー

皆さん、こんばんは。函館歯科医師会で理事をしております川村です。前担当でありました岩井副会長が別の部署に移りまして、私は退院支援分科会にりましたが配置換えとなりました。よろしくお願いいたします。

#### 栗田医療・介護連携担当

ありがとうございます。続きまして公益社団法人北海道看護協会道南南支部の中村様に代わりまして、医療法人雄心会函館新都市病院の伊藤玲子様就任されました。

#### 伊藤メンバー

皆さん、こんばんは。看護協会の書記をしております、伊藤と申します。函館新都市病院で昨日まで外来の看護師長をしておりましたが、今日から部署異動で入退院支援室ということで、この部門とも大いに関わるところを立ちあげることになりましてとても勉強になるなと思っております。よろしくお願いいたします。

#### 栗田医療・介護連携担当

伊藤様、ありがとうございます。次に一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部の酒本様に代わりまして、医療法人社団 函館脳神経外科病院の阿部綾子様、よろしくお願いいたします。

#### 阿部メンバー

皆様、お疲れ様でございます。北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部の副支部長をしております、函館脳神経外科病院の阿部と申します。協会の方としましても、医療・介護連携に何かお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

#### 栗田医療・介護連携担当

阿部様、ありがとうございました。次に道南訪問看護ステーション連絡協議会の高畑様に代わりまして、社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院在宅療養支援室訪問看護係の白川直子様就任されました。

#### 白川メンバー

皆様、お疲れ様でございます。道南訪問看護ステーション連絡協議会の高畑会長に代わりました白川直子と申します。函館五稜郭病院の在宅療養支援室で訪問看護師をしております。わからないことが多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 栗田医療・介護連携担当

白川様、ありがとうございました。また、居宅介護支援事業所連絡協議会から渡部様が本日初めての出席となりますので一言ご挨拶をお願いいたします。

#### **渡部メンバー**

すみません。去年からやらせていただいておりますが、本日初めての出席となります。どうぞよろしくをお願いいたします。

#### **栗田医療・介護連携担当**

渡部様、ありがとうございました。次に、幹事の交代がございましたので、ご紹介させていただきます。医療・介護連携支援センターに7月1日付で人事異動があり、新しくセンターの相談員になりました中村様です。中村様に、ご挨拶を頂きたいと存じます。中村様、よろしく申し上げます。

#### **中村幹事**

函館市医療・介護連携支援センターに7月から勤務させていただいております中村真衣子と申します。皆様、どうぞよろしくをお願いいたします。

#### **栗田医療・介護連携担当**

中村様、ありがとうございました。なお、以前在籍しておりました柳谷様につきましては、センターの隣の部署であります地域連携室のクローバーに人事異動しておりますが、これまでのセンターでの実務経験を踏まえ、必要な際にはセンターをフォローできる体制としております。本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。寺田部会長、申し上げます。

#### **寺田部会長**

部会長の寺田です。よろしく申し上げます。それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。報告事項(1)「平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告」に関して、佐藤幹事から説明願います。

#### **佐藤幹事**

皆様、こんばんは。幹事の佐藤でございます。資料1報告事項の(1)「平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告」につきまして、ご報告いたします。資料3の平成31年度 多職種連携研修計画と合わせてご確認いただければと思います。

アの医療関係者向け研修会ですが、今年度はテーマを「介護サービスの概要と役割(医療との連携)」とし、医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員の宮城 智美様に講師をお願いしております。1回目は令和元年5月30日、函館新都市病院での開催で院内43名、院外33名、合計76名の参加、2回目は、令和元年8月23日、函館渡辺病院での開催で院内53名、院外25名、合計78名の参加がありました。今年度、最終回となります3回目は函館市医師会病院にて令和2年2月開催を予定しております。開始時間は、通常は開催病院の職員さんが参加しやすいように17時半から

でしたが、3回目は院外の医療関係者にもご参加いただきやすいように18時からを予定しております。1回目、2回目の研修会終了後のアンケートでは、「サービスが複雑化していてわかりにくかったのですが、今日お話を聞くことができ、理解が深まりました。」「情報提供してほしい内容がわかってよかった。今後、情報提供書作成時に参考にさせていただきます。」等のご意見があり、業務に活かせる内容になったのではないかと感じております。

次に、イの介護関係者向け研修会ですが、テーマを「正しい病院のかかり方（医療介護連携編）」とし、当部会のメンバーとしてもご協力いただいております、社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 法人内・法人外連携推進担当課長 船山 俊介様に講師をお願いしております。1回目は、令和元年5月28日199名、2回目、令和元年8月20日134名の参加がありました。3回目は令和2年2月に同じくテレシアターでの開催を予定しております。研修会は、ミニグループワークを行ったりクイズ形式を取り入れた内容となっており、参加された方たちから大変良かったとの声が聴かれておりました。また、終了後のアンケートでは「病院側の事情を考える機会となりました。」「病床機能について把握できていない部分があり、非常に勉強になりました。」と学びの深い研修になっているのではないかと思います。

次にウのオープンカンファレンスですが、令和元年8月22日 函館中央病院での開催がありました。参加者は、院内34名、院外104名、合計138名でした。オープンカンファレンスに関しましては、昨年同様に人気があり今回も締め切り日前に定員を超えてしまい、申し込み受付を早く終了する状況となりました。2回目以降の開催予定は現在検討中となっております。

続きまして、エの函館市医療・介護連携『施設看取り研修会』です。こちらは、連携強化を目的とした看取りにかかわる研修会の位置づけとなっておりまして、介護施設等での看取りケアの取り組み報告を参考に、介護施設等でのより良い看取りケアが広がっていくことを目的として開催いたしました。先日9月25日テレシアターにて医師会会長、副会長、および当センターのセンター長にもご参加いただく中で実施いたしました。市内の施設関係者及び協力医療機関の関係者等150名が参加されました。看取りに関しましては、センター事業内容の一つとなっておりまして、昨年度から施設訪問を実施し、その中で看取りに取り組むグループホームと介護付き有料老人ホームの2施設を選定、今回の事例報告会といたしました。2施設には、看取りに取り組む施設の方針や、具体的な看取り事例、さらには現在抱えている課題等について報告を行っていただきました。研修会終了後のアンケートでは、「今、当事業所でも取り組んでいるなか、他事業所の取り組みがとても参考になりました」「今後施設看取りケアの取り組み方の参考にしたいと思います。」「事例報告だと参考になり、今後の支援に活用するイメージが付きやすい」等のご意見があり、大変有意義な研修会になったと考えます。施設看取りに関しましては、現場で働いている方たちが注目するテーマでもあります。まだまだ課題も多く、施設看取りを支援していく一つの方法として研修会の実施は継続して必要になるかと考えております。今回のアンケートの中でも「自施設ではまだ取り組めていないため、とても興味深かったです。」「病院と施設の連携について研修をお願いします。」といったご意見もあり、こういったご意見も参考に来年度の研修計画を考えていきたいと思っております。

次にオの『はこだて入退院支援連携ガイド』を活用した研修会です。こちらは、昨年度も

実施いたしました。今年度も退院支援分科会主催のもと、10月10日に予定しております。参加予定者は50名で、今年度は急性期病棟の看護師さんにも参加いただき、より入退院支援の場面に直接かかわる専門職の方たちによるグループワークが可能となることを目指しております。

カの『入退院支援連携強化研修会』です。こちらは、情報共有ツール作業部会主催での研修会となっております。函館市地域包括支援センターのご協力をいただき年に4回の開催を予定しております。参加対象者は包括支援センターの職員、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、小規模多機能型居宅介護の職員、看護小規模多機能型居宅介護の職員となっております。はこだて医療・介護連携サマリーの説明の後、入退院支援における相互の連携支援について『知る・考える』機会として函館中央病院 退院支援看護師の奥山ちどり様を講師にお迎えし、急性期病院が必要とする情報や受け取るタイミングについてのお話と実際にサマリーを記載していただく個人ワーク、さらに『入退院支援の中で、急変時病院と協働して（利用者さんのために）できること』をテーマにグループワークを行う形で実施しております。各包括の圏域を4つに分けて、1回目は7月に45名、2回目は9月に開催し、50名の参加者となりました。今年度はあと、2回の開催を予定しているところです。

キの急変時対応研修会に関しましては、現在開催にむけて協議中となっております。時期としましては令和2年3月頃を予定しており、急変時対応実務者コアメンバーの皆さまと共に開催する形となっております。

次にクの函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）ですが、令和元年9月7日、公益社団法人北海道看護協会 道南南支部主催『看護管理者懇談会』に当センターの長谷川看護師が参加させていただき、道南南・道南北地区の看護管理者約60名を対象に在宅医療・介護連携推進事業や当センターの役割等についての説明をしてきております。ケのセンター主催研修会への見学参加（出前講座の実施）ですが、今年度よりセンター主催の研修会に市内の医療系・福祉系の教育機関へ案内を発送開始しております。早速、5月・8月の医療関係者向け・介護関係者向け研修会に函館市医師会看護専門学校、函館歯科衛生士専門学校の教員の方が数名ずつ参加していただいております。また、北海道教育大学函館校、学校法人西野学園 臨床福祉専門学校さんより教員と学生向けにセンターの役割等についての説明をしてほしいとご希望があり、それぞれ令和元年6月17日、令和元年7月29日に出前講座を実施いたしました。今後の函館市の医療・介護連携を担う人材を育成する教育機関の、函館市の医療・介護連携推進事業への関心の高さを感じるとともに、まだまだセンターとしての周知不足も感じ引き続き継続していきたい部分だと思っております。報告事項（1）「平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告」のご報告は以上でございます。

## 寺田部会長

はい、ありがとうございます。それでは、報告事項（1）に関して、皆様からご発言を頂きたいと思っております。何かご質問、ご意見等はございませんか。初めての参加の方もいらっしゃると思いますので、ざっくばらんにご意見等いただければと思います。ないでしょうか。それでは、次に議事に進めてもよろしいでしょうか。では、「報告事項（1）」に関しては以上にて終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。それでは、報告事項（2）「センターホームページ『コラム』の掲載について」に関して、幹事から説明願います。

## 佐藤幹事

資料1 報告事項の(2)「センターホームページ『コラム』の掲載について」につきまして、ご報告いたします。昨年度より、センターのホームページ上でコラムの掲載を開始しております。内容としましては大規模研修会のシンポジストにご依頼して専門職としてできる事を掲載しているところです。今年度の掲載は、昨年度の大規模研修会でのシンポジウムに沿った内容で、「施設医・在宅医・病院医～それぞれの立場からの看取り～」と題して、シンポジストになられたケンゆのかわの老松先生、北美原クリニックの岡田先生、おしま病院の福德先生にすでにコラムをご依頼しているところです。9月から順次掲載していくこととなっております。11月の大規模研修会の開催前には3先生のコラムがすべて掲載できるようにと思っております。報告事項(2)「センターホームページ『コラム』の掲載について」のご報告は以上でございます。

## 寺田部会長

はい、ありがとうございます。それでは、報告事項(2)に関して、皆様からご発言を頂きたいと思っております。ご質問、ご意見等はございませんか。「報告事項(2)」に関しては以上にて終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。それでは、続きまして報告事項(3)「研修情報一元化と提供について」に関して、幹事から説明願います。

## 佐藤幹事

資料1 報告事項(3)「研修情報一元化と提供について」ご説明いたします。資料4をご覧ください。今年度から研修情報を提供していただく団体や機関を拡大いたしましたところ、早速、掲載のご依頼が来ているところでした。今年度4月から8月末の掲載分としては合計27件でした。昨年30年度は1年間で30件でしたので、掲載件数の増加がみられております。引き続き、掲載数の拡大に努めていきたいと思っております。報告事項(3)「研修情報一元化と提供について」のご報告は以上でございます。

## 寺田部会長

それでは、報告事項(3)に関して、皆様からご発言を頂きたいと思っております。ご質問、ご意見等はございませんか。「報告事項(3)」に関しては以上にて終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。それでは、続きまして資料の2になります。協議事項(1)「意見交換会について」に関して、幹事から説明願います。

## 佐藤幹事

資料2 協議事項(1)「意見交換会について」ご説明いたします。資料5をご覧ください。こちらは、「多職種による意見交換会に関する調査用紙」となります。今年度はじめに協議会に参加していただいている団体のうち12の団体とその他の12団体、合計24団体を対象に調査を実施いたしました。多職種による意見交換会としてセンターが主導して開催する必要性も含めて、改めて各団体において、他団体や他職種との意見交換会が実施されているのかという実情の把握とセンターに期待する役割等の希望を調査することを目的に実施い

たしました。資料6をご覧ください。こちらは調査結果のまとめになります。調査対象の24団体のうち、半数の12団体はすでに他団体や他職種との交流会を含めた意見交換会が実施されていました。反対に、実施できていない12団体のうち、今後意見交換会をしたいと考えている団体が10団体という結果です。他団体や他職種との交流会を含めた意見交換会を実施するにあたって、当センターの介入を希望する団体は半数の12団体で具体的な内容としては表記の①～④となっております。調査結果から、センター主催で意見交換会を開催するというのではなく、団体間のサポートをしてつなぐ役割という方向で考えていこうと思っております。センターからの提案となりますが、各団体の了承が得られたうえで、事務局や担当者などの団体窓口の一覧を作成、各団体に配布し、団体同士で直接やり取りができるように環境を整えていくことを考えております。さらに、こちらも了承が得られるならば、センターホームページに団体窓口の一覧の掲載、ホームページがある団体等はリンクをつけて情報提供することなども一つの方法として考えております。協議事項(1)「意見交換会について」の説明は以上になります。センターからの提案に関しましてご協議をお願いいたします。

#### 寺田部会長

佐藤幹事、説明をありがとうございます。それでは、協議事項(1)「意見交換会について」、皆様からご発言を頂きたいと思えます。ご質問、ご意見はございませんか。何かございませんか。齋藤さんお願いいたします。

#### 齋藤メンバー

道南老施協の齋藤です。私が道南老施協に入って12年くらい経つのですが、その間は1回も他職種と意見交換会をしたことが無いのです。経験が無いのですが、皆さんの団体で意見交換会するとなるとどういう内容なのでしょうか。例えば、一緒に一人の講師の講義を聞いてそのあとに懇親会があるのかとか、グループワークをするのか等実際にどういうことが行われているのか知りたいです。

#### 佐藤幹事

はい。例えば、薬剤師会さんと地域包括支援センターさんとは年に数回行われているのですが、そのあたり、水越先生から詳しくお願いいたします。

#### 水越副部会長

私が理事になる前から地域包括支援センターとの連携ということで交換会をしているのですが、今の形は、地域包括支援センターのしくみとか、仕事の内容の話をしていただいています。薬剤師としては居宅療養管理指導とかそのあたり、お互いの仕事の内容の理解、相互理解を深めるところですね。実際に今は発展的解消ということで言葉は消えていますが「まちかど相談薬局」という制度が日本薬剤師会主導で行われたことがありまして、その時は薬局というものは地域の中にもものすごい数あるんですね、その地域の方に薬のことだけではなくいろんな相談が持ち込まれるんですがその情報を地域包括支援センターに流して対応していただく。そのためのつながりですね。あとは、色々な話をどちらかにしていただい

てそのあとにグループワークをして実際にどのように連携して地域のために貢献していったらいいか話し合います。ついこの間もありました。年に1回、もしくは2回3回、毎年持ち回りで、今回は地域包括支援センター主催で、次の年は薬剤師会主催でという形で会費を徴収してやっています。研修会を年に1回必ずやっています。最初は本当にお互いの仕事の理解をとっかかりでやってそれが今も続いてやっています。

### 寺田部会長

あと、訪リハとケアマネさんとも、渡部さんが会長になる前は一つの事例を通じてセラピストの考えとケアマネさんの考えは同じ支援をするにしてもちょっと違うかなということで議論したと思うのですが、去年はどのような形で開催されたのですか。

### 渡部メンバー

去年とおととしは同じ先生で同じような内容で事例検討的なグループワークですね。それもセラピストさんと居宅ケアマネの他に多職種の方に入ってもらってグループワークで話し合うような形をとりました。今年で3回目になるのですが、去年、おととしは訪リハ連協さんが頭になって訪リハ連協さんが講師を呼んで開催したところです。今年度に関しては、今度居宅連協の方で講師を招いて訪リハ連協さんと一緒に合同研修会を11月2日にやる予定ですが、結局今回もお互いの計画、居宅のケアプランと訪問リハのリハビリテーション計画をリンクさせられるような計画の作り方ということで金沢から講師に来ていただいてやってもらう予定です。講師というのは、理学療法士であり石川県のケアマネ協会の副会長をやられている方です。リハのこともマネジメントのこともわかるような先生で研修会を予定しております。

### 寺田部会長

あと、なにかご紹介できる取り組みはありますか。

### 阿部メンバー

当協会は、道の支部になりますので事業計画を道に提出して予算をもらっているのですが、毎年年に1回、生活支援課とソーシャルワーカー協会とで意見交換会というものをしております。そこは、先程水越さんもおっしゃっていた互いの業務を知るといような中身で生活支援課の方も呼びまして、ワーカー協会と50、60ぐらいの人数でグループワークをしておりました。

### 寺田部会長

ありがとうございます。他にありますか。いくつか、今までの案が出ましたが、齋藤さん何かありますか。

### 齋藤メンバー

脱線して大変申し訳ないですが。うちの場合は職能団体ではないのでいろんな職種が含まれている。だから例えば薬剤師さんのように2つの職種でということにならないので、しか



も道南になってしまうので、うちだけまず道南の人を集めて例えば、函館市何とか協会を集めてと、またそれも難しいことになるのかなと色々考えてしまう。函館市だけの老施協という風に割ってしまうこともできないし、そのために予算を使えない。道南なのに函館市の人たちだけの予算組できないと思うので、どういう風に活動したらいいのかなと思ったので。ありがとうございます。

### 佐藤幹事

はい。各団体ごとの意見交換会に関しましては、センターの函館市という動きにとらわれず団体さん同士で意見交換会というイメージでとらえていただいていた方がいいと思います。どうしてもセンターの事業ですと大規模研修会も函館市に事業所がある職種の方と制限があるのですが、意見交換会に関しては団体さん同士のイメージで道南、函館市の縛りなく開催を検討していただけるといいのかなと思います。

### 寺田部会長

他にご意見ありますか。

### 佐藤幹事

すみません。今、齋藤さんからも貴重なご意見をいただいたところではありますが、ここでの協議事項、今一度皆様でご協議いただきたいと思います。センターの方からの提案としたしましては、各団体窓口の一覧を作成させていただきまして、それを各団体に配布しても良いかどうか、またそれをセンターのホームページに掲載しても良いかどうかにつきまして改めてご協議をお願いしたいと思います。もし、この場での回答が難しいようでしたら後日各団体の会長さんに確認していただいたうえでご返答していただくという形でも構わないのですが、この2点につきまして皆様の方からご意見いただければと思っております。

### 寺田部会長

今の説明に関しまして、質問など確認ございませんか。よろしいでしょうか。では、協議事項（１）「意見交換会について」、このとおりで進めるということよろしいでしょうか。それでは、協議事項（２）の「平成31年度 函館市医療・介護連携多職種研修会について」に関して、幹事から説明願います。

### 佐藤幹事

資料2協議事項（２）「平成31年度 函館市医療・介護連携多職種研修会について」ご説明いたします。資料7をご覧ください。第5回 函館市医療・介護連携多職種研修会の素案になります。皆様にはメールにてお知らせしておりましたが、多くの方が参加する研修会でもありますので、早くからセンターの方で日程と会場を決めさせていただいておりますことをご了承ください。日時ですが、令和元年11月30日土曜日の例年どおり14時から17時です。場所も昨年同様、国際ホテルの2階天平となっております。定員は昨年同様グループワーク席が最大240名分、聴講席が120名分の合計360名となっております。参集方法としましては、できるだけ多くの医療・介護関係者の参加をめざし、今年度からは直

接センターから各医療機関・介護事業所等の多職種に向けた案内配布を行い、所属する機関等からお申し込みいただく形といたします。ただし、歯科医師会様・薬剤師会様・柔道整復師会様・鍼灸マッサージ師連絡協議会様の4団体に限りましては、職種や団体の特色を鑑みて各団体を通じてのお申し込みといたします。センターから各団体長様宛に案内文書を発送いたしますので団体長様を通じてお申し込みいただきたいと思います。歯科衛生士の方につきましては、歯科医師会から発信される歯科医師会員への案内文書からの参加申し込みとなりますのでご注意ください。終了後の懇親会につきましても例年通り予定しております。

次に、研修会の内容に入ります。昨年の大規模研修会のテーマにいたしました「看取り」については、センターの事業内容のひとつとなっております。昨年から3年計画で取り組む予定となっているところでした。昨年は「地域での看取りを知る～その現状とこれから～」というテーマで看取りに関しての基本的な現状の理解を目的にシンポジウムとグループワークを実施いたしました。施設・在宅・病院とそれぞれの場所における医師による視点での看取りをテーマにシンポジウムを行いましたので、2年目となる今年度は、多職種の視点での看取りの現状と課題を共有してはどうかと考えました。テーマは「地域での看取りを知る～多職種の視点からみた看取りの実際～」とし、構成は昨年同様シンポジウムとグループワークといたします。シンポジストに関しましても、時間的な都合もあり、センターの方であらかじめ決定させていただきまして、施設看取りについては、社会福祉法人 函館カリタスの園 旭ヶ岡の家 介護老人福祉施設 生活相談員・介護支援専門員の南部 雄一様、在宅看取りについては、株式会社ケア・スキル ヘルパーステーション笑福 ケア管理者・サービス提供責任者の山口 瑞穂 様、病院看取りについては、市立函館病院 病棟副看護師長 沖崎 香代子 様をお願いしているところです。選定の理由ですが、「看取り」に関するセンター事業の中で看取りに取り組んでいる施設や事業所を対象に施設訪問を実施し詳細を確認したうえで看取りの経験が豊富で好取り組みをされていると判断し今回のご依頼に至っております。また、シンポジウムの座長ですが、コアメンバー会議を通じて選定いたしまして今回は医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 内科医長・訪問診療科科長でおられる横倉 基先生にご依頼をさせて頂いております。次に、グループワークとその後のシンポジストとの意見交換会ですが、昨年の内容のままと考えております。資料9をご確認ください。全体のタイムスケジュールとしましても、資料8のとおり、昨年と大きく変えずに時間配分しております。

最後に役割分担ですが、総合司会は部会長の寺田様に今年もお願いいたしまして、事務連絡等を行うサブ司会として益井様、懇親会の司会は山本様にお願いいたします。なお、益井様、山本様には今年度、この部会のコアメンバーとしてお願いしているところでした。部会のメンバー様には、昨年同様グループワークの際のファシリテーターをお願いできればと思っております。その他、当日の受付や会場案内、会場準備等はセンター職員と医師会病院の職員で担当したいと思います。

なお、今後の予定ですが本日の部会で承認いただいたのちに案内文書の発送、10月末で申し込み締め切り、11月上旬に座長・シンポジストの打ち合わせを行い、11月中旬には部会メンバーさんによるファシリテーター打ち合わせを考えております。

長くなりましたが、協議事項(2)「平成31年度 函館市医療・介護連携多職種研修会に

ついて」の説明は以上になります。第5回 函館市医療・介護連携多職種研修会の内容と役割分担等についてご協議いただければと思います。

#### 寺田部会長

はい、説明をありがとうございます。ただいまありましたように研修会の内容、役割分担について皆様からご発言いただければと思います。よろしく願いいたします。

皆さん、日付も今初めて聞いた方もいらっしゃるかと思いますが、ご都合等踏まえまして参加いかがでしょうか。今、わかっている方だけでも。

#### 伊藤メンバー

学会の参加が決まっています。その場合は代替りのものを出した方がよろしいでしょうか。

#### 佐藤幹事

参加人数が確定してからグループ数も決まる形になりますので。昨年は何名かご参加いただけないメンバーさんもいらっしゃったのですが何とか回すことが出来た状況でした。なので、参加人数が決まってからまたご相談させていただくことがあるかもしれませんが今のところ大丈夫だと思っていただいて結構です。

#### 伊藤メンバー

もし必要でしたら、おっしゃってください。

#### 佐藤幹事

ありがとうございます。

#### 寺田部会長

皆さん、まだ予定ははっきりしませんかね。

#### 川村メンバー

歯科医師会です。まだ資料を会員に配布しておりませんので、理事会に挙げて通ると思いますのでその後、会員に配布して締め切り出します。今のところこの日は何も入っておりませんので昨年と同じくらいの規模で参加できると思います。私も出ます。

#### 寺田部会長

10月の末で全体の申し込み締め切りますので、役員の方とかは別に申し込み確認しますか。

#### 佐藤幹事

今、この場でご回答いただけた方と、まだご予約が定まらない方もいらっしゃるかと思いますので改めてメール等で、ご出席が可能かどうかの確認をさせていただきます。よろしい

でしょうか。

### 寺田部会長

では、内容やスケジュールなど、確認したいことはございませんか。益井先生。

### 益井メンバー

個人的には大体把握しているので大丈夫です。昨年とちょっと変わったところとか、その辺の確認をもう一度この場でした方が良いかと思って。昨年参加された方もいらっしやって、今回はグループワークの中で確か昨年はまず二人ワークをやってからグループの全体ワークという流れでやったのですが。今年はそれは無くて、最初からグループワークという形で進んでいくということですね。

### 佐藤幹事

ありがとうございます。確かに、益井先生のお話いただいたように、コア会議の中では今回は二人ワークというものを行わずにそのままグループワークに入ってはどうかというお話をしておりました。ただ、この部会の中で皆さんのご意見をいただきながら最終決定していければと思いますので、もし提案に関しまして何かご意見等ございましたらいただければと思います。

### 寺田部会長

資料の9の方には15時55分のところに二人ワークと記載されてはいるんですが、これは昨年の内容ですね。

### 佐藤幹事

こちらのグループワークの素案は昨年の流れのまま作成しております。二人ワークに関しての良かった点、悪かった点、いろいろご意見をいただいているところではありましたが、皆様の中でどうでしょうか。実際に行ってみた感想などございましたら。半分くらいは新しいメンバーさんになっているので昨年の研修会ご存じない方もいらっしやるかと思いますが、ご意見いただければと思います。

### 寺田部会長

昨年参加された方は、どのくらいいますか。結構いますね。では、皆さんご意見いただけますか。二人ワークを実際やってみて、良かったよとか、ちょっと気まずかったよとか。

### 阿部メンバー

グループワークになれている者としては、いきなり二人ワークじゃなくても特に支障はないなと思いました。慣れていない人にとっては入りやすいのかもしれないですね。

### 寺田部会長

他、ご意見ありませんか。

## 益井メンバー

たしか、私は去年ファシリテーターとして入ったと思うのですが、意外と二人でのワークからの全体の流れへのつながりはスムーズにいかなかったというか、うまい具合に行かなくて。もちろんファシリテート力が僕に無かったというのもあったのかもしれませんが、もしかしたらファシリテーターがしっかりとディスカッションをコントロールさえできれば、最初から全体的に少しずつ話し合いをもっていった方がいいのかなと去年はやっていて思いました。なかなか、こう二人ずつでやっていて、そこからの意見を全体に浸透させていくというのが意外と難しかったかなというような印象を去年は感じました。

## 水越副部長

今、益井さんが言われたことと同じように感じたのですが、やっぱり普段会話していない人といきなり二人でというのも気恥ずかしい感じもしまして、お互いがおとなしい方だと私の目の前にいた方だとおとなしくて。逆に話上手な渡部さんのようにパッと話してくれる方だと話できますけれども。だからその前に自己紹介はすでに終えているので、どうでしょうね。あとは司会者さんの進行でいければいいのではないかと思います。

## 佐藤幹事

では、今二人ワークを無くしてもいいのではないかというご意見の中で、この二人ワークの時間をですね個人ワークに変えて付箋紙に何か書き出していただくという作業は継続、そのまま残すということにするのか、それともこの二人ワーク、個人ワーク自体を無くしてしまい、グループワーク全体でのディスカッションに最初から入っていただくのがいいのか、そのあたりもご意見いただけると助かります。

## 川村メンバー

あの、昨年お恥ずかしいですが、この時間を区切ってやられたのですが、前の段階のものをまとめたりしているうちに次のがもう始まってしまったりして。結局もう覚えてないのです。あたふたして。ですから、いきなり二人ワークをやめるということではなくて、二人ワークの在り方を問いましようということではしっかりやるべきだと思います。うまくいかなくてもいいから。それで、やっぱりうまくいかないとなったらもう一度ここで協議したらいいのではないのでしょうか。

## 寺田部長

他にご意見いかがでしょうか。

## 白川メンバー

去年、グループワークに参加していた方なのですが、5分区切って反対隣の方とグループワークするという時にまだこっちの方は話していたりして。区切って次にもう移行すると意見がまとまらなかったもので、やるとしても反対隣ではなく、1回にして、もうちょっと話す時間をとったらいかなと。時間が足りないというか、まとめきれない、消化しきれない

という部分は確かにあったので時間配分をもう少し考えていってもいいのかなと思いました。

### 佐藤幹事

はい、ありがとうございます。確かにこの毎年大規模研修会後のアンケートでもグループワークの時間が短いというご意見を多数いただいているところでした。なんとか、他の部分を詰めながらもグループワークに極力時間を割いてはいるのですが前段のシンポジウムの時間も大切にしたい。さらにグループワーク後のディスカッションの時間も大切にしたいと思いますと、どうしてもこの時間がですね、このような時間配分になってしまうところなのです。今後の課題としましては、毎年の課題ではあるのですがグループワークを1回にするですとか、そういった形で時間配分を検討していきたいなとは思っているのですが、昨年、今年、来年と同様に看取りについての研修会ということで同じテーマでのディスカッションをしていければという思いもあるものですから、今年度はこのような時間配分になってしまうかなというところですね。ただ、ワークの仕方に関して3通りのご意見をいただきましたが、このまま二人ワークを手法を変えてやってみてはどうだろうかというご意見と、私の方からの提案ではありましたが、個人ワークに変更してグループワークを行ってはどうかと、それとも、二人ワークも個人ワークもなくして全体でのディスカッションの時間にしてはどうかといったご意見をいただいておりますが、もしかしたらこの場で決定というのはなかなか難しいのかなと思いますので皆さんからのご意見を参考にさせていただきながらセンターやコアメンバーの皆さんとも検討させていただき時間をいただきましてどういった手法でやっていくのか考えていきたいと思っております。二人ワーク、良い点もありますし、混乱するといったご意見もいただいておりますので、そのあたりも踏まえてどういう形で開催していくか、グループワークを行っていくのか検討していきますがよろしでしょうか。また後日、こういった形でやりたいですとご報告させていただきたいと思っております。

### 寺田部会長

ありがとうございます。他にご意見ありませんか。よろしいでしょうか。

### 齋藤メンバー

聴講席は去年より増えたのですか。

### 佐藤幹事

聴講席、グループワーク席ともに確保できる最大数としては昨年同様となっております。あとは、参加人数がどのくらいになるかというところで最終的に座席数が変わってくるかなと思っています。

### 寺田部会長

よろしいですか。

### 佐藤幹事

ひとつ前の協議事項になるのですが、各団体さんの窓口、連絡先等の一覧を作成させていただくというところに関してはこの場でご承認いただけたと捉えて構いませんか。そして、そちらを各団体さんに配布させていただくというところもよろしいですか。

#### 益井メンバー

はい。よろしいと思います。

#### 佐藤幹事

さらに、その団体さんの一覧をホームページ上に掲載するというところになりますが、こちらはもし、各団体ごとに協議が必要でしたら一旦持ち帰っていただくという形をとりたいと思いますが。この場でご承認いただけるのであればそれに越したことはないのですが、もし持ち帰って各団体長さんのご承認が必要であれば一度持ち帰っていただければと。では、大変お手数をおかけしますが、各団体長さんの方へ先程の3点ですね、まずは団体の連絡先の窓口一覧を作成させていただいてよいか、そしてそれを各団体さんに配布しても良いかどうか、そしてさらにはセンターのホームページに掲載しても構わないかどうか。あと、ホームページがですね、私たちセンターとしては掲載させていただければありがたいと思うのですが、一般市民もご覧になるホームページになりますので、そういったところで支障が出るようでしたら各団体への配布というところで留めておくということも可能かと思っておりますので是非ご協力いただいてセンターの方にご回答いただけますようお願いいたします。

#### 伊藤メンバー

期限はいつまでですか。

#### 佐藤幹事

そうですね。実際一覧を作るとなりましたら団体長さんに1枚物の窓口をお知らせいただくような用紙をご依頼させていただくような形になると思います。少しでも早い方がいいと思うのですが、どうでしょう、どのくらい日数があると大丈夫ですか。皆様の方で確認が取れ次第という形で構わないです。私たちの方もそれまでに一覧作る準備を進めておきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

#### 水越副部長

載せるにあたっての注意書きみたいな。ただ、各団体の窓口みたいな感じですか。

#### 佐藤幹事

そうですね。目的としましては、先程意見交換会の場面でご提案させていただいておりますので各団体同士の連携をスムーズにする、やり取りをスムーズにするということが目的ではあります。ただ、ホームページ上で掲載するとなるとそれ以外の目的でもご覧になる方々もいらっしゃると思うんです。なので、こういう題で掲載してほしいみたいなものもあれば検討していきたいと思っております。

## 水越副部長

医療・介護連携関係団体一覧。載せるところと載せていないところとありますね。要するに団体載せるときにももちろん相談窓口と載せてしまえば当然相談がきますね。ただ、あくまでも我々の各団体の窓口を目的にしているのであれば何とか関係団体窓口になりますかね。相談する体制が整っていない団体さんだと、受ける人が存在しない団体さんだといきなりそうになってしまうと困るかなと。

## 佐藤幹事

そうですね。相談窓口としての掲載は考えていません。あくまでも団体同士の連携を図るための窓口ということで、何かいい名称があればそういった名称にしていきたいと思えます。

## 京谷メンバー

団体というところは、あくまでも連協の会長が属している団体。うち包括であれば10か所の包括がある中で連協の会長が属している包括が代表の窓口として掲載される。

## 佐藤幹事

そうですね。包括でいくと地域包括支援センター連絡協議会の窓口ということになります。

## 京谷メンバー

会の判断になると思いますが、協議会の中の会長が所属している包括が窓口となる。

## 佐藤幹事

そこは、各団体さんに応じて変わってくるのかなと思います。今お話あったように会長さんが窓口ですということもあれば、事務局が窓口になりますとか、副会長が窓口になりますとか、さまざまになるのかなと思います。センターの方で調査させていただくときにどちらの機関のどなたが窓口ですかということまで確認させていただければと思っていました。

## 京谷メンバー

そうすると、例えば連絡協議会の会長がその年によって交代になったりとか、その都度更新になった時には事務局さんの方にお伝えしてホームページも更新していくということですか。

## 佐藤幹事

はい、ありがとうございます。各団体さん毎に窓口が変わる場合はセンターの方にご連絡いただけますと大変助かります。ただ、そういったご連絡もなかなか難しい中でいただけない場合もあるかなと想定しておりますので年に1度更新という形で各団体さんに現在のまままで変わらないでしようかというご案内はさせていただければなと思っておりました。

## 京谷メンバー



どこかの病院さんのホームページで受診される方へとか医療関係者の方へとかケアマネジャーの方へとか、介護事業所の方へとか分かれているホームページがあってすごく見やすいので、この団体の名簿を載せるとなった時に一般の方が見るページと違うというようなアップの仕方、各関係団体の皆様へとかのところに入っていきような形で見れるとなかなか一般の方は見ないということであれば少しでも、連協の会長のところに一般の方から相談が行くとちょっと混乱するかなと思うので、ページの作り方だったり見出しのつけ方だとより便利なのかなと思いました。

### 佐藤幹事

ありがとうございます。そういった形で分けが出来ればなお良いかなと思います。ただ、ホームページの機能上それが可能かどうか、あと色々な問題で可能かどうかホームページ作成会社とも検討していきたいと思います。今お話しいただいたのは医療関係者用と表記していて、そこに一般市民が入れないに鍵をかけるということではなく、でよろしいですかね。そうであれば、もしかしたら少し検討していける内容かなと思っております。ありがとうございます。

### 京谷メンバー

ありがとうございます。

### 寺田部会長

他に何かございますか。多職種研修会に関しては特によろしいでしょうか。皆さんからいただいた意見をもとにセンターとコアメンバー中心に議論を進めていきたいと思っておりますので皆さんどうぞよろしく願いいたします。それでは、次回の部会について、運営担当の幹事から説明願います。

### 佐藤幹事

次回の部会は、随時、改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりますので、ご了承願います。なお、大規模研修会のファシリテーター会議の日程につきましては、改めてメールにて日程調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 寺田部会長

他になければ、全ての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

### 栗田医療・介護連携担当

寺田部会長、どうもありがとうございます。それでは、以上をもちまして、函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第10回会議を終了いたします。皆様お疲れさまでした。